

SPECIFICATION 「ジアフリー」の仕様

製品名	モントロワ除菌消臭器 ジアフリー
型式	MT-01
タンク容量	500ml
連続稼働時間	約2ヶ月(電池使用時)
消費電力	約21mW
使用環境	温度5~40℃(但し、結露なきこと)
本体寸法	直径100mm×高さ185mm
本体重量	約300g(溶液・電池含まず)／約900g(溶液・電池含む)
電源	単3形アルカリ乾電池4本または 専用ACアダプター(AC100V-240V 50Hz/60Hz)(別売品)
材質	本体:PP(ポリプロピレン) 防水フィルタ:PE(ポリエチレン)・PS(ポリエステル)
付属品	単3形アルカリ乾電池(動作確認用)×4本 スタートアップガイド×1枚 取扱説明書(保証書付)×1冊
別売品	専用ACアダプター(AC100V 350mW)

使用上のご注意

- 使用する食塩は「塩化ナトリウム含有率99%の食塩」を使用してください。
- 適用量数は約6量です。それ以上の広さの場所で使用する場合は、本器を複数台使用してください。
- 使用する際は、充滿した次亜塩素酸の気体が逃げないように、使用する部屋の窓や扉を閉じてください。
- 本器の効果に即効性はありません。動作開始後、部屋内に3日程度をかけ充滿し、その後電池交換までの約2ヶ月間、除菌・消臭効果が持続します。
- 運転時にわずかな成分臭(プールの消毒のような臭い)が伴います。成分臭が強すぎると感じたら、換気を行ってください。

この製品は、公益財団法人東京都中小企業振興公社の「新製品・新技術開発助成事業」の支援を受けています。

「ジアフリー」の除菌・消臭能力試験結果について

- 【試験対象】インフルエンザウイルス 【試験機関】株式会社食環境衛生研究所 【試験方法】試験容器(1立方メートル)内で、ウイルス液を噴霧し運転。対象区は無処理のまま、試験区は試験機材を継続運転させた状態で、所定の時間経過後に試験機内の空気をエアサンプラーで捕集し、感染ウイルス力価測定に供した。
- 【試験対象】ネコカリシウイルス 【試験機関】株式会社食環境衛生研究所 【試験方法】試験容器(1立方メートル)内で、ウイルス液を付着させた試験布を容器中央付近に懸架して運転。対象区は無処理のまま、試験区は試験機材を継続運転させた状態で、所定の時間経過後に試験布に付着している感染ウイルス力価を測定。
- 【試験対象】大腸菌・黄色ブドウ球菌 【試験機関】株式会社食環境衛生研究所 【試験方法】試験容器(1立方メートル)内で、試験菌を付着させた試験布を容器中央付近に懸架して運転。対象区は無処理のまま、試験区は試験機材を継続運転させた状態で、所定の時間経過後に試験布に付着している生存菌数を測定。
- 【試験対象】アンモニア・メチルメルカプタン・硫化水素・アセトアルデヒド 【試験機関】株式会社食環境衛生研究所 【試験方法】試験容器(1立方メートル)内で、ろ紙片(5cm×5cm)に染みこませたそれぞれの臭気成分ごとにガラス容器に設置して運転。対象区は無処理のまま、試験区は試験機材を継続運転させた状態で、所定の時間経過後の容器内の臭気成分濃度の推移をガス検知管で測定。

- ⚠ 安全に関するご注意**
- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 特に「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。

Montrois モントロワロゴマークおよびMONTROISは、株式会社三山TTCの登録商標です。

商品の使い方や取扱説明書が
ホームページでご覧になれます。

<http://www.miyama-ttc.co.jp/support/>

スマートフォン
からでもご利用
いただけます。



• 商品の仕様およびデザインは、改良のため予告無く変更する場合があります。• 掲載の商品の色は、印刷の都合上、実際の色と多少異なる場合があります。

販売元 株式会社 三山TTC

本社 〒181-0014 東京都三鷹市野崎1丁目18-1
開発企画部 〒370-2211 群馬県甘楽郡甘楽町小川304-1
TEL:0274-74-5005
<http://www.miyama-ttc.co.jp>

製造元 株式会社 三山精工

本社 〒181-0014 東京都三鷹市野崎1丁目18-1
<http://www.miyama-seiko.co.jp>

商品のお買い求めは当店まで

このカタログの記載内容は2019年5月現在のものです。

Montrois
モントロワ

モントロワ除菌消臭器 ジアフリー
機能と使い方の動画はこちら▶



世界初の新技術
【特許取得】
次亜塩素酸の気体が発生!!

半年間、手間なく除菌・消臭!!
「食塩水」と「電気」だけ。



食塩水を電気分解して 次亜塩素酸の気体を発生

ジアフリーは食塩水を電気分解して除菌・消臭効果を発揮します。

FEATURE 「ジアフリー」の特徴



専用液、噴霧器の購入がいりません

ジアフリーに必要なのは、食塩水と乾電池だけです。専用液や噴霧器を購入するコストや手間、時間は必要ありません。



維持費、人件費がかかりません

効果を維持するためには、半年に一回の食塩水の交換と、約2ヶ月に一回の乾電池の交換だけ。頻繁な補充や交換にかかる維持費や人件費は必要ありません。



設置場所を選びません

ジアフリーは乾電池駆動。しかも軽量でコンパクトな設計。だから置き場所を選びません。必要な場所で必要な効果を発揮する、それがジアフリーです。

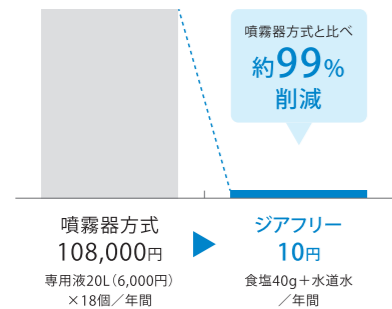


運転音がしません

ジアフリーにはファン等の駆動部がありません。そのため騒音の原因となる駆動音を発生しません。静かさを必要とする場所での使用にも最適です。

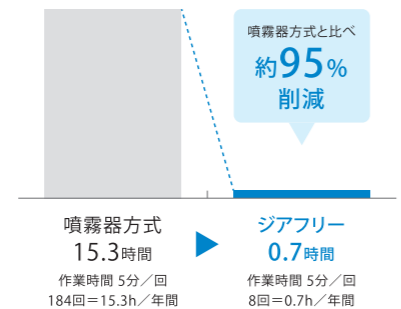
購入コスト削減

次亜塩素酸水の購入の必要が無くなり、低コストでの稼働が可能になります。



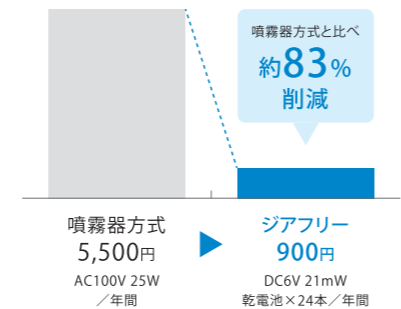
メンテナンス時間削減

補充など頻繁なメンテナンス作業の必要が無くなり、作業時間の削減が出来ます。



使用電気代削減

消費電力が少ない設計のため、噴霧器方式に比べ、省エネ運転が可能です。



USE SCENE 「ジアフリー」の利用シーン

介護福祉施設

- 介護福祉施設のトイレ
- 介護福祉施設の汚物処理室

医療施設(病院・クリニック)

- 医療施設(病院・クリニック)のトイレ
- 医療施設(病院・クリニック)の待合室

仮設・臨時施設

- イベント会場などの仮設トイレ
- 避難所等の仮設トイレ



宿泊施設(ホテル・旅館)

- 宿泊施設(ホテル・旅館)の客室

動物病院・ペットショップ

- 動物用のトイレ

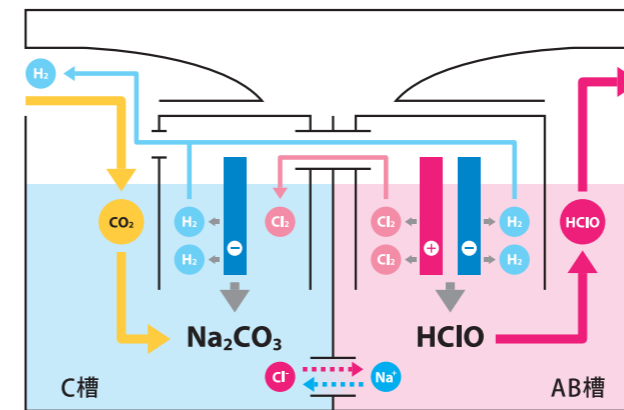
その他施設

- 学習塾の教室やトイレ
- スポーツ施設のロッカールーム

世界初の新技術【特許取得】 次亜塩素酸の気体の生成メカニズム

モンタロウ除菌消臭器「ジアフリー」は、食塩水を電気分解して次亜塩素酸の気体を大気に放出します。手間も維持費もかけずに長時間の除菌・消臭効果を発揮します。

OPERATION PRINCIPLE 「ジアフリー」の動作原理



- 3本の電極で食塩水の有隔膜電気分解と無隔膜電気分解を同時に行います。
- AB槽では、電極(+)より発生した塩素ガス(Cl₂)は水に溶け、次亜塩素酸(HClO)を生成します。
- 同時に、C槽で苛性ソーダ(NaOH)を生成し、気中の水分と炭酸ガス(CO₂)を取り込み、炭酸ナトリウム(Na₂CO₃)を生成します。
- AB槽とC槽の間で「Na⁺」と「Cl⁻」のイオン交換をすることで「pH5~6.5の微酸性」に保ちます。
- この水溶液が気化し、大気に放出されることで、除菌・消臭効果を発揮します。

(特許第6254759号)

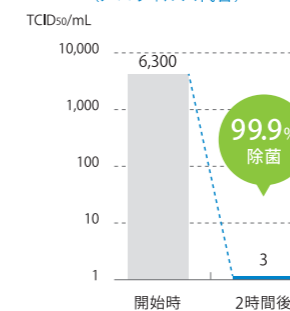
PERFORMANCE 検査機関で実証された、「ジアフリー」の除菌・消臭能力 (株式会社食環境衛生研究所調べ)

ウィルスに対する不活性化効果

インフルエンザウィルス

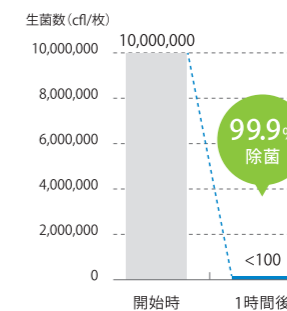


ネコカリシウィルス (ノロウィルス代替)

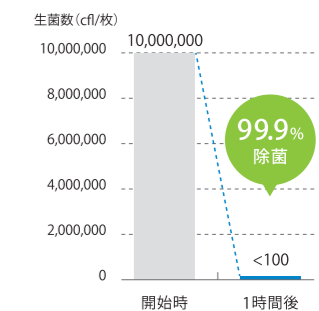


付着菌に対する除菌効果

大腸菌

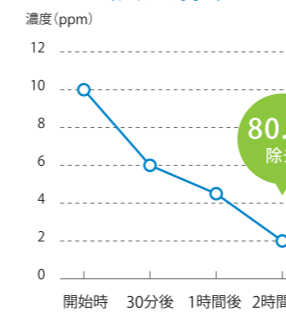


黄色ブドウ球菌

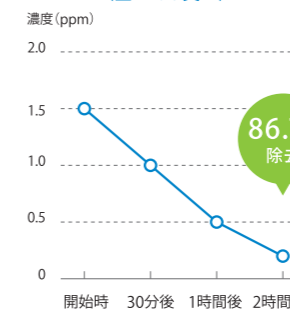


消臭効果

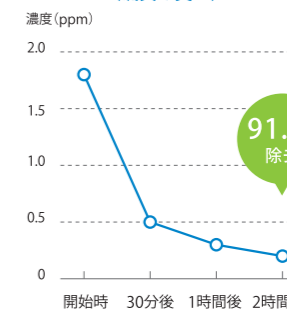
アンモニア (トイレの臭い)



メチルメルカプタン (生ゴミの臭い)



硫化水素 (硫黄の臭い)



アセトアルデヒド (タバコ、ペットの臭い)

